

死亡叙位・叙勲候補者推薦確認票（元職）

主要経歴：

候補者氏名：

項目	検 討 内 容		チェック	備 考
1	推 薦	ベース	4 G以上の官職の経験者でその期間が1年以上あるか。	現職死亡の場合は半年以上の経験で足りる。
		叙 勲	① 主要経歴が3 G官職の場合	
	② 主要経歴が4 G官職の場合			
	基 準	判 任 官 推 定		判任官推定は判任官期間と高等官期間の合計期間で判定する。
		高 等 官 推 定		
3	懲戒処分等	懲戒処分（免職・停職・減給・戒告）を受けていないか。		免職・停職は推薦不可。 減給・戒告は推薦の際、弁明書を提出する。 ※自らの非行による処分の場合は推薦不可。
4	休 職 期 間			兵役による休職は除く。
5	死 亡 原 因	「推定死亡」に該当しないか。		推定死亡の場合は死亡診断書、死亡状況書の提出を要する。
		交通事項、自殺、水死等、死亡原因に異常はないか。		死亡状況を確認するとともに新聞記事等の情報を入手し、庁人事課に推薦の可否について相談すること。
6	受 章 確 認	遺族に受章の諾否を確認したか。		遺族が断った場合は推薦しない。
6	栄 典 授 与 不 適 格 者	候補者又は候補者に関係する法人（団体）が次の「栄典を授与することが不適当な者」に該当しないか。 ① 刑罰を受けた場合 ② 警察等の取り調べを受けた場合 ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合 ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合 ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合 ⑥ 訴訟が継続中である場合 ⑦ 不祥事等について報道があった場合 ⑧ 事故を起こした場合 ⑨ 懲戒処分を受けた場合 ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合（公的資金の注入等）		該当する者についても、事前協議により推薦可能となる場合があるので、庁人事課に相談する。
7	提 出 書 類	刑 罰 調 書	氏名、生年月日が戸籍と一致しているか。	提出部数 審査票：2部 その他 正本：3部（叙位のみの場合は2部） 写し：1部
			「刑罰の有無」及び「破産手続開始決定の有無」欄が「有」となっていないか。	
		戸 籍	改姓はないか。（改姓がある場合は審査票の該当欄に記載する）	
		前 叙	兵役がある場合に前叙の有無を確認したか。	
		履 歴 書	本籍、氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。	
			郵便番号と住所に不一致がないか。	
功 績 調 書	氏名、（旧氏名）、生年月日の記載は戸籍と一致しているか。			
審 査 票	他の提出書類の記載事項（内容）と整合性がとれているか。			
8	連 絡 事 項 等			